



新しい年、2021年が始まりました。そして、学校では後期後半、いわゆる三学期が始まりました。

この年末年始はいつもとはちがう年末年始でした。そして、いつもの日常がいかに尊いか、人と人とのつながりが、いかに日々の生活を豊かにし、潤いのあるものにしてきたか、みなさんもそれを実感したのではないかと思います。

三年生のみなさんは、今日と明日のテストを控え、ひたすら勉強をしたことでしょう。そんな年末年始の過ごし方も、時には必要です。

さて、今の学年も残りわずかです。三年生のみなさんはあと二か月、一、二年生のみなさんはあと三か月です。仲間とのつながりが学校生活を豊かにすることは、みなさんもすでに気付いていることです。これからの二か月、三か月も、進んで仲間とのつながりをつくっていきましょう。そして、学校生活を豊かさと潤いのあるものにしていきましょう。

とくに大きな行事は、「先輩と語る会」です。この行事は、一年を振り返るためのものです。この一年間で、学級がどう成長し、その中で自分がどう成長したのか、それを確かめてほしいと思います。

その時に知っていなければならないことは、学級と個人との関係です。学級という集団はあと二か月、あるいは三か月で解散します。しかし、みなさん一人一人の生活は、そのあともずっと続きます。そして4月から、新たな集団の中での生活が始まります。つまり、新しい集団で生活できる自分をつくるために、今の学級という集団があるのです。だから、自分という個人がどれだけ成長したのかを自覚することが重要なのです。

例えば、文化交流会を振り返ってみましょう。私はすべての学級の合唱と演奏を聴きました。どの学級の合唱、演奏も素晴らしいものでした。集団としての取組は、どの学級も大変よかったですと思います。けれども、一人一人を見たときはどうでしょうか。みなさんの学級は、一人残らず全員が満足いく取組をしていたでしょうか。

残念ですが、私は一人一人を見たときに、ごくごく少数ですが、十分ではない取組があったのではないかと感じています。集団が成長しても、個人の成長がなければ、取組の意味はありません。ぜひ、一人一人が成長することを大切にしてください。

うまくいかないこともあります。うまくいかないまま、一年が終わるかもしれません。けれども、一日一日を精一杯頑張ること、自分のできることに精一杯取り組むことが重要ではないか、そう思います。

12月の全校集会でお話したことを、もう一度お話しします。

仲間といっしょだと頑張れます。自分の弱い心を見つめることができます。仲間とともに頑張る中で、多少の不安があっても歯を食いしばって頑張れる自分、その不安をじっと耐えることができる自分、いやなことであっても前向きに受け止めてやっていくことができる自分、つらい思いをしている仲間に気付き、仲間を優しく支えられる自分、そんな自分をつくって行ってください。

そうすれば、たとえうまくいかないことがあっても、「ああすれば、よかった。」と後悔することはないと思います。「うまくいかなかったけれど、頑張ったな。」という思いが残るはずです。

そんな思いで卒業式、修了式を迎えてほしいと思います。